

歴史から学び、未来を見つめる

入場無料

野口英世フェア

野口博士の生涯にふれる1日

写真提供：(公財)野口英世記念会



今年の「野口英世フェア」は落語家生活45周年を迎えた桂幸丸を迎え、「幸丸流 野口英世伝」をお届けします。

野口英世の故郷猪苗代にほど近い岩瀬村出身。郷土出身の偉人を語る迫真の演目です。

NPO法人野口英世よこはま顕彰会の解説つきのパネル展示をはじめ、「母から子への手紙コンテスト」入賞作品の展示等盛沢山な内容。

横浜にゆかりの深い巨星の在りし姿をたどる一日。ぜひご来館ください。

11/16(土)
10:00~16:00



幸丸流近代偉人伝シリーズの中から「野口英世伝」をお届けします。

幸丸流 野口英世伝

落語：桂幸丸

13:00 開場 13:30 開演
(事前登録制 10/11受付開始)

事前申込制 ※申込方法は裏面参照

幸丸流
野口英世伝

同日開催

検疫資料館の一般公開

写真:厚生労働省横浜検疫所ホームページより引用



野口英世フェアに合わせて、隣接の横浜検疫所の施設「検疫資料館」の一般公開も開催。かつて、「旧長濱検疫所一号停留所」で知られたこの建物は昨年、登録有形文化財(建造物)に登録されました。明治時代の雰囲気は今に残す外観のみならず、残されている数多くの歴史的資料を垣間見ることできる貴重な機会です。

是非、「野口英世フェア」に合わせてお出かけください。

パネル展

- ◎野口英世の活躍とその舞台 [B1ホワイト]
- ◎野口英世の生涯 [2F多目的ルーム]

作品展示

「母から子への手紙」コンテスト
平成30年度入賞作品展示 [1Fロビー]



お問い合わせ

横浜市長浜ホール TEL: 045-782-7371

その他イベントは、裏面でチェック!

主催：横浜市 長浜ホール 共催：NPO法人 野口英世よこはま顕彰会 協力：(公財)野口英世記念会・厚生労働省横浜検疫所

歴史から学び、未来を見つめる。野口英世フェア

11/16(土) 10:00~16:00

※各スケジュールは当日変更になる場合がございます。予めご了承ください。



幸丸流 野口英世伝

落語：桂幸丸

13:00 開場 13:30 開演
(事前登録制 10/11受付開始)

野口英世が生を受けた猪苗代村のほど近く。福島県須賀川市に生を受けた桂幸丸が、郷土の偉人の面影を胸に語るその名も「幸丸流野口英世伝」。

平成16年の「文化庁芸術祭参加公演」でも披露されたこのお噺。落語家生活45周年を迎えさらに磨きがかかりました。

野口英世の母シカの逸話を含めボリュームもアップ。野口英世ゆかりの長浜ホールで味わうのはまた格別。

野口英世の生涯をよくご存じの方も、まったく知らない方も、桂幸丸の落語で体験してみてください。

桂 幸丸 プロフィール

落語家。昭和29年12月23日 福島県須賀川市に生まれる。昭和52年 日本大学文理学部国文科卒。昭和49年6月1日桂幸丸に入門。昭和55年二つ目昇進。

平成2年真打昇進(公益社団法人 落語芸術協会所属)。

趣味：旅行(南の島と温泉大好き)・イラスト

古典、新作の両方を演じる。「旅行へ行こう」「笑うと健康」等新作の他、平成15年より「近代偉人伝」をスタート。

平成16年に「文化庁芸術祭参加公演 幸丸流近代偉人伝 新札三部作(「野口英世伝」・「樋口一葉伝」・「福沢諭吉伝」)を東京芸術劇場にて開催、評判を呼ぶ。

「時代に合った創作斬削り、又「近代偉人伝シリーズ」の数を増やし面白くて分かりやすい人物伝を創作していきたい。」とコメントし「幸丸面白落語」を目指す。

リポーター、司会者、俳優としても数多くのTV番組に出演。芸能活動の傍ら、男女共同参画、ワークライフバランスについての講演を行う。

平成27年に須賀川市より“観光牡丹大使”の移植を受ける。

(申込方法) 氏名・住所・電話番号・参加人数を明記の上、電話、メール、FAXで長浜ホール宛お申込みください

パネル展

【ホワイエ】10:00~16:00

野口英世の活躍とその舞台

—細菌検査室と一号停留所(検疫資料館)の保存・活用を目指して—

若き野口英世の活躍の舞台となった長浜検疫所の姿を今に留めるのが細菌検査室と一号停留所。現在、細菌検査室は保存・公開されていますが、一号停留所は検疫資料館として多くの貴重な検疫資料を収蔵するも公開は年に一回に留まっています。この地域の貴重な財産である細菌検査室の更なる活用、一号停留所の保存・活用を目指す展示を説明付きで実施。

協力:NPO法人 野口英世よこはま顕彰会



写真提供：(公財)野口英世記念会



パネル展

【多目的ルーム】10:00~16:00

野口英世の生涯

野口英世博士の生涯を野口英世記念会蔵の写真パネルでたどるコーナーです。猪苗代から横浜を経て世界に羽ばたいた野口英世。

51年の生涯をわかりやすく紹介。

協力：(公財)野口英世記念会



作品展示

【ロビー】10:00~16:00

「母から子への手紙」コンテスト 平成30年度入賞作品展示

日ごろなかなか伝えることができない、母親の気持ちを手紙に込めて子供に伝える「心の手紙コンテスト 母から子への手紙」。母・シカが、アメリカにいる英世へ送った手紙をモチーフとして、1通の手紙をとおして、母と子の絆をあらためて認識してもらいたいと、猪苗代町で開催される手紙コンテストです。今年で16回を数えます。第15回の入賞作品の中からのご紹介です。子供に伝えたい思い、母の愛があふれています。



長浜ホール

ACCESS MAP



〒236-0011
横浜市金沢区長浜114-4
長浜野口記念公園内

TEL：045-782-7371

FAX：045-782-7389

✉ nagahama-hall@nagahama-hall.com

http://www.nagahama-hall.com/

●京浜急行「能見台駅」下車 徒歩15分

●金沢シーサイドライン「幸浦駅」下車 徒歩15分

ご存知でしたか？

長浜ホールに隣接して小さな白壁の建物があります。これは、野口英世博士ゆかりの「旧細菌検査室」です。明治28年(1895年)に長浜検疫所の建物群のひとつとして建てられましたが、大正12年(1923年)の関東大震災で倒壊、その翌年再建されたものです。

野口英世博士は明治32年(1899年)に検疫医官補としてこの地に勤務しました。当時博士の前には、長浜地区の海辺風景がひろがっていました。

この建物は、当時の細菌検査室の面影を残しており、野口博士ゆかりの研究施設としては日本に現存する唯一のものです。

